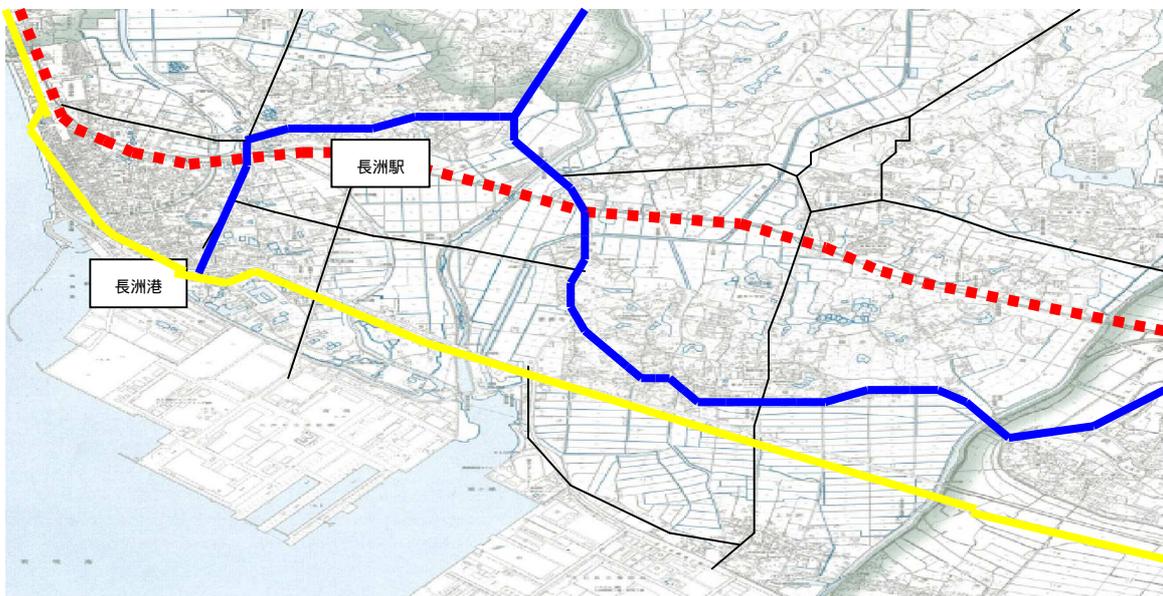


## 【長洲町におけるまちづくりの経過】

- 1957年（昭和32年10月） 現在の長洲町誕生
- 1964年（昭和39年 4月） 新産業都市の指定  
臨海部の埋立開始  
造船・アルミサッシ等の製造業の進出が始まる  
半農半漁の町から工業都市へ
- 1969年（昭和44年 3月） 不二サッシ（株）（現在：不二ライトメタル）進出
- 1972年（昭和47年 4月） 日立造船（株）（現在：ユニバーサル造船）進出
- 1976年（昭和51年 5月） 東洋サッシ（株）（現在：トステム）進出



1977年

(昭和52年 3月)

総合グラウンド完成

(昭和52年 8月)

B & G財団長洲海洋センター体育館



1978年(昭和53年 9月)

長洲町役場庁舎完成



1981年(昭和56年 7月) 健康福祉センター完成

1982年(昭和57年 9月)

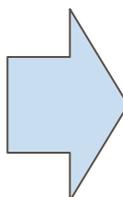
健康福祉センター環状線バス

運行開始



1982年(昭和57年 9月)

橋上「長洲駅」完成



1983年(昭和58年 3月)  
長洲駅海岸線開通(都市計画道路)

1986年(昭和61年 8月)  
下水道供用開始

1989年(平成 1年 9月)  
長洲・岱明線開通(都市計画道路)

1993年(平成 5年 4月)  
県道大牟田・熊本・宇土線 国道昇格(501号)



(平成 5年 9月)

室内温水プール完成

1994年(平成 6年10月)  
地域福祉センター完成



1995年(平成 7年 4月) 金魚と鯉の郷広場完成



1997年(平成9年10月)

ながす未来館完成



1999年(平成11年4月)

長洲・荒尾環状線バス運行開始

荒尾市営バス延伸(牛水線) 長洲港まで

2000年(平成12年7月)

大谷・長洲港線開通(都市計画道路)

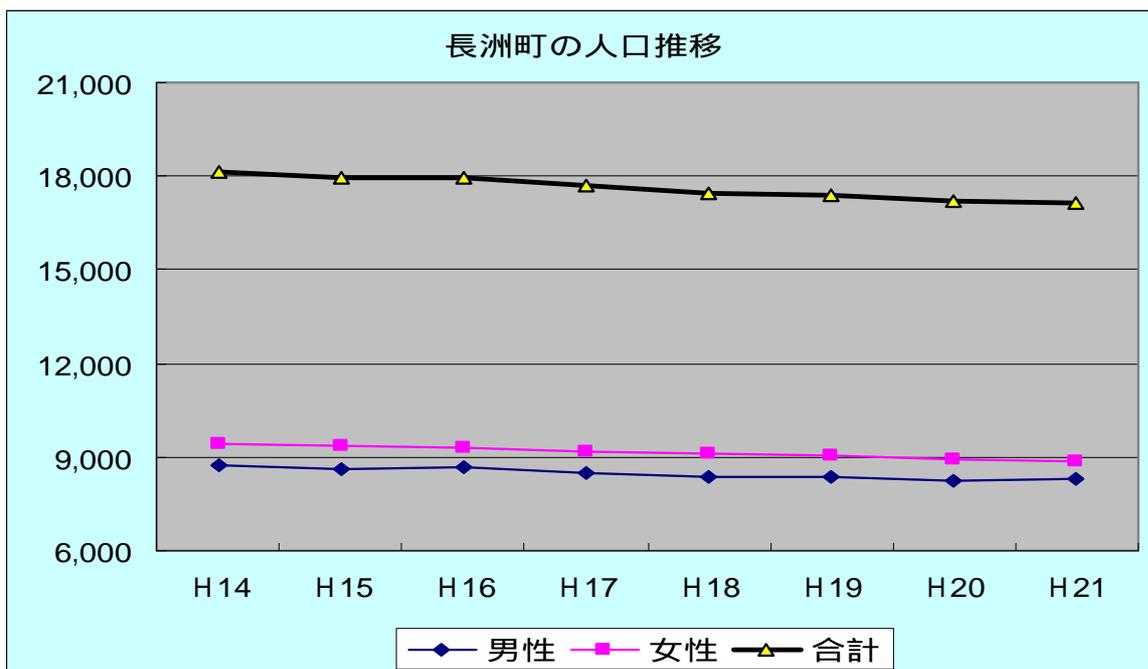


## 【長洲町人口など】

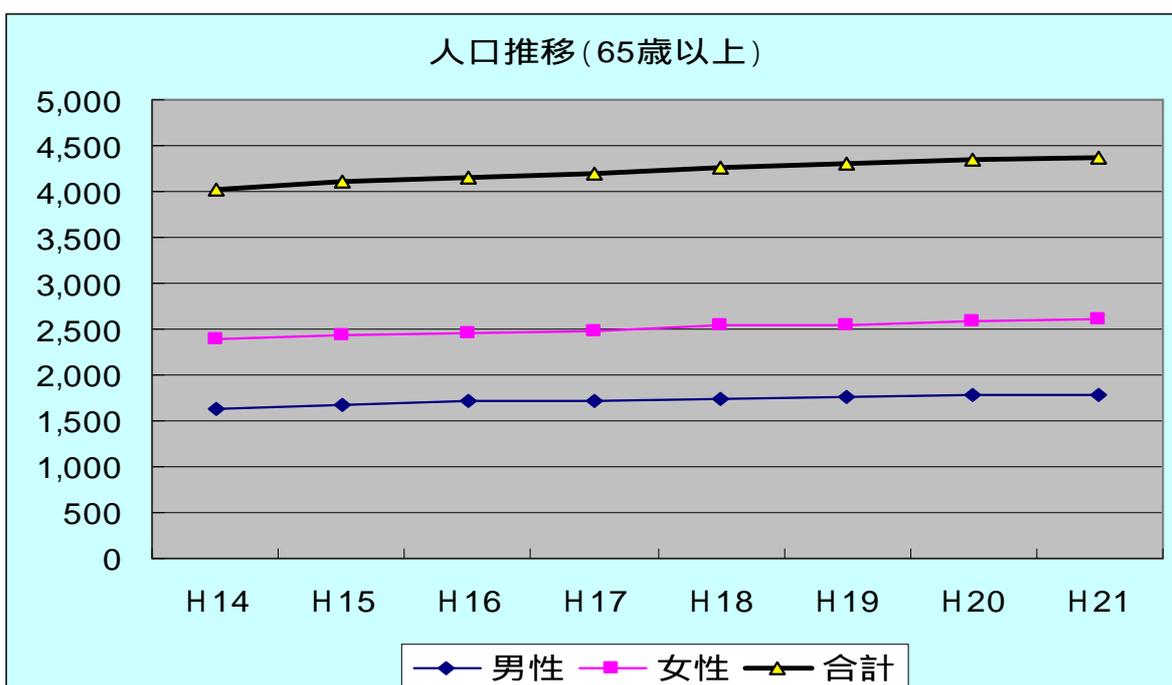
位置：長洲町は熊本県の北西部に位置し、南東部は玉名市、北西部は荒尾市に面し、  
JR鹿兒島本線「長洲駅」や「長洲港」が存在する町です。

面積：19.44 Km<sup>2</sup>

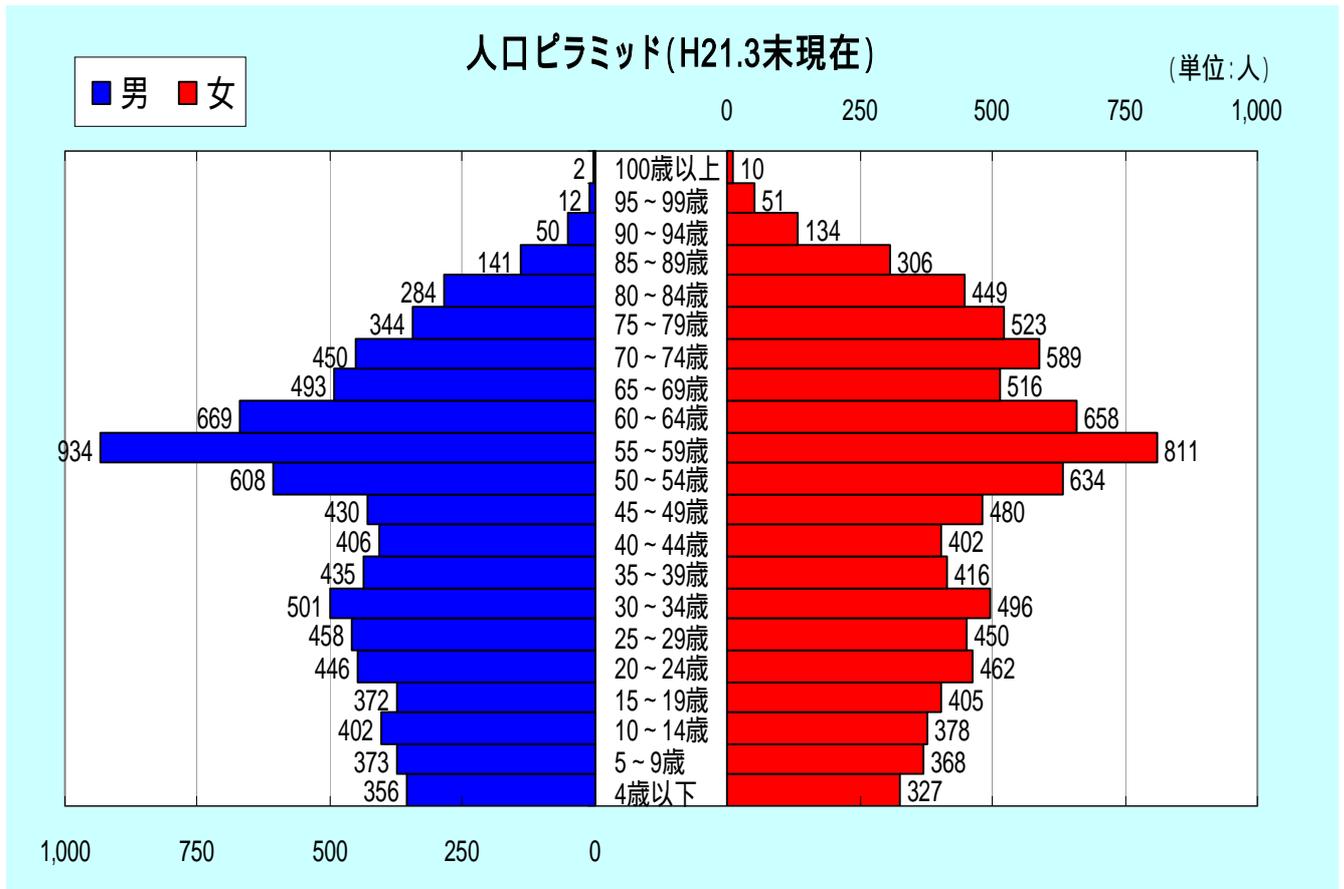
人口：17,168名（平成21年10月30日現在）



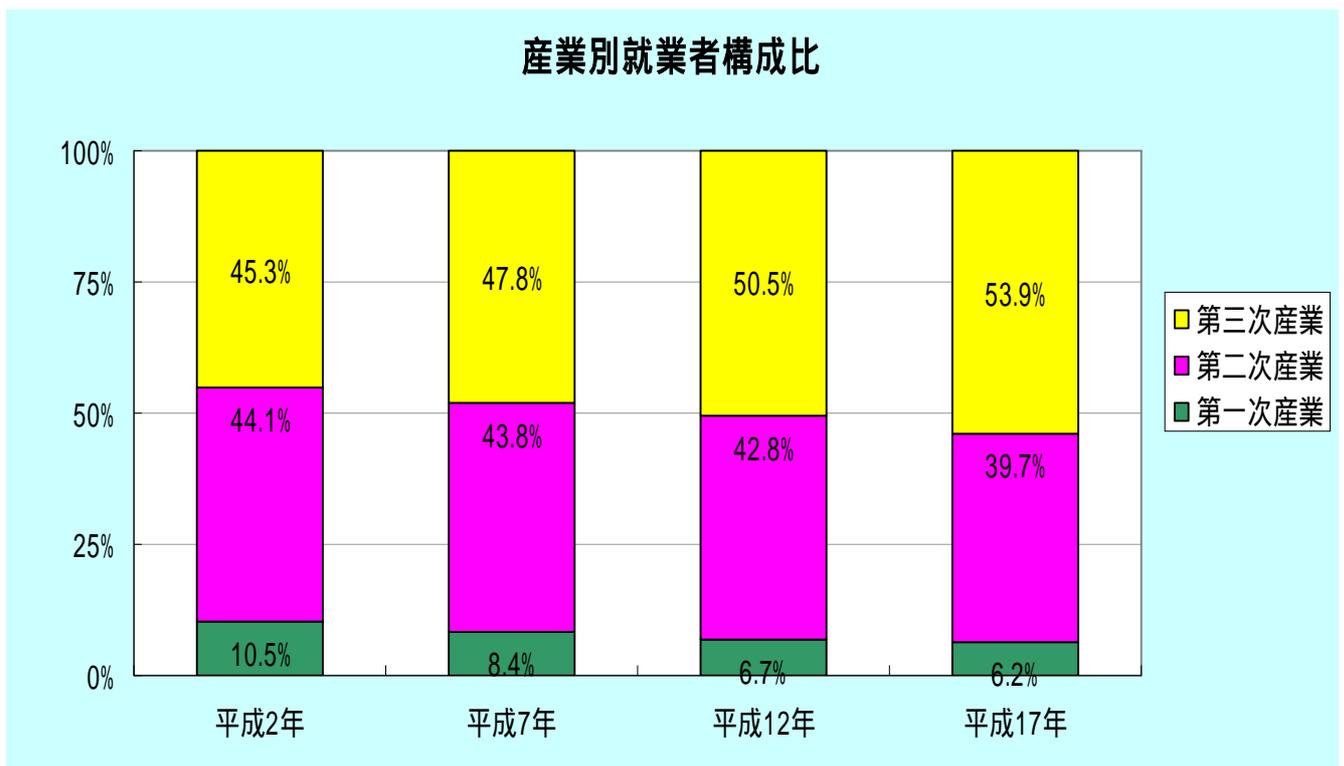
65歳以上人口：4,380名 高齢化率：25.8%（平成21年10月30日現在）



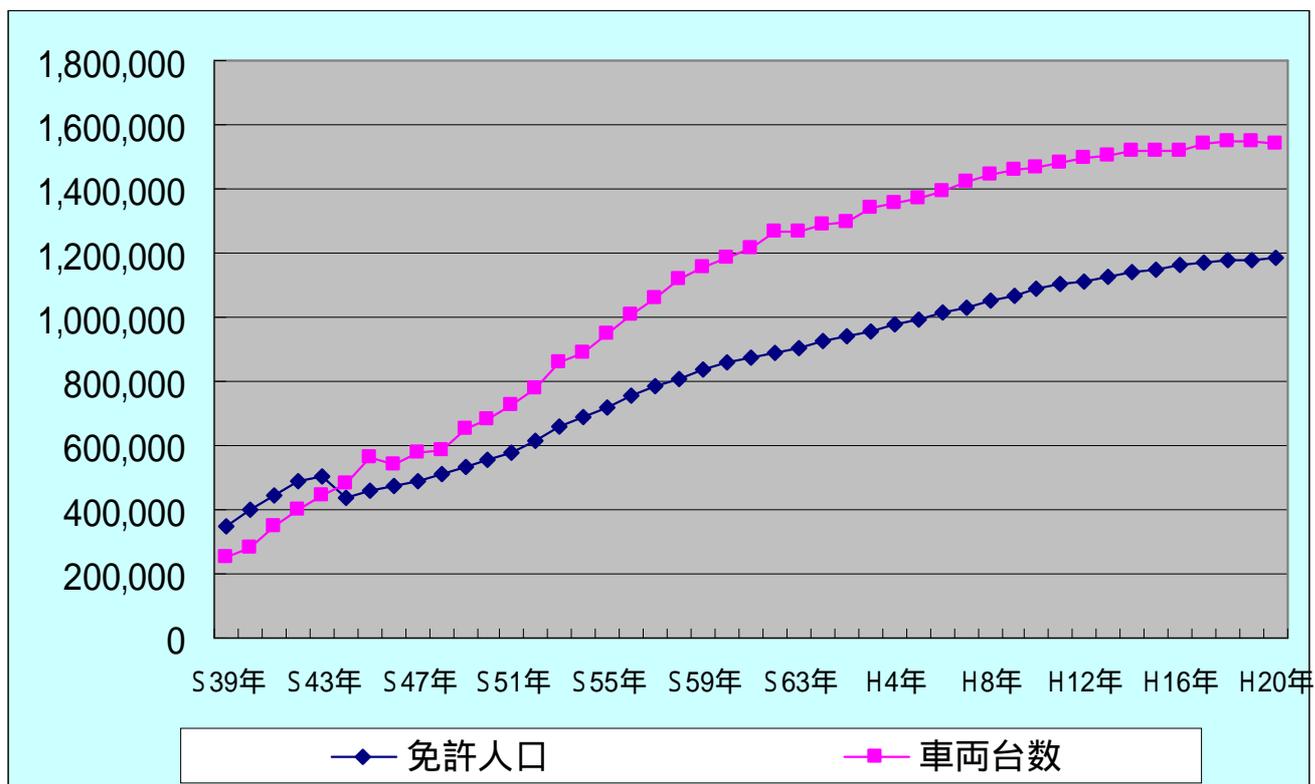
## 人口ピラミッド



## 産業別就業人口 (国勢調査より)



## 熊本県の免許人口と車両台数



## 長洲町の自動車等の保有台数 (19年4月現在) (税務課調べ)

大型車	1,941台	
普通車	3,821台	
軽自動車	5,475台	
自動二輪	328台	
原付バイク	1,948台	
		合計 13,513台

## 【長洲町の公共交通（バス等）の現状】

### 1．バス運行の経緯について

現在の長洲町のバス運行の現状は、町内公共施設への住民の利便性と交通弱者の足を確保するために、昭和 57 年に健康福祉センターを起点・終点とし、町内を一周する「健康福祉センター環状線」(旧産交観光)が運行開始されました。

しかし、路線バス事業者の採算が確保できず、一時、廃止の危機となりましたが、昭和 61 年に路線バス事業の赤字分を町補助金として補填することで、現在まで、廃止路線代替バスとして運行をしています。

平成 3 年からは、植木から荒尾四ツ山を結ぶ「植木～四ツ山線」(旧熊北産交)が運行開始され、平成 18 年 10 月に玉名合同庁舎～荒尾産交前線へと変更され現在も運行しています。

平成 11 年からは、隣市の荒尾市民病院の通院者と高校への通学者の利便性の向上を図るため「長洲・荒尾環状線」(旧熊北産交)の運行と長洲港から荒尾市山の手までを結ぶ「山の手・牛水線」の運行を開始しました。

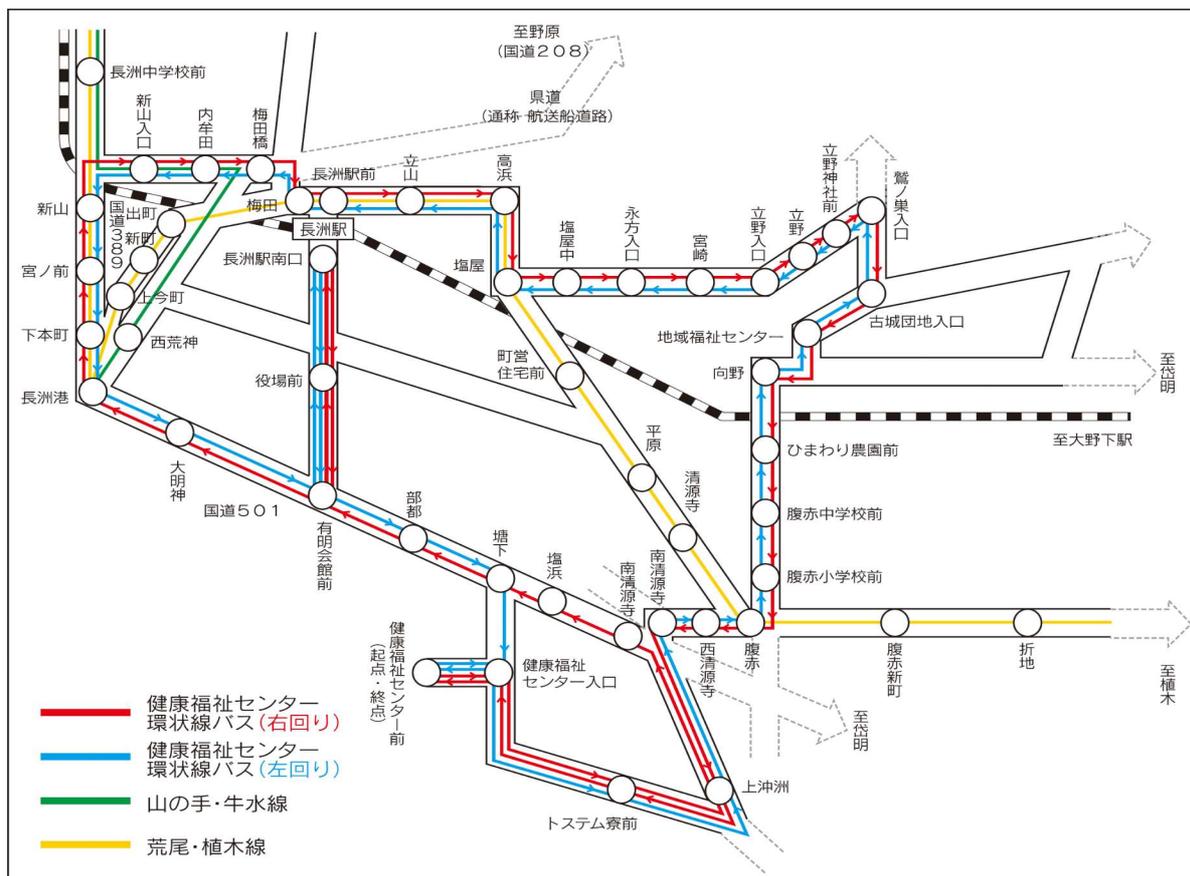
### 2．バス路線

現在、長洲町的主要バス路線の詳細は次のとおりです。

健康福祉センター環状線（右回り、左回り）

右回り 8：04～8：48、 10：16～11：00、 13：02～13：46、  
15：03～15：47、 16：29～16：41（終点：新山）

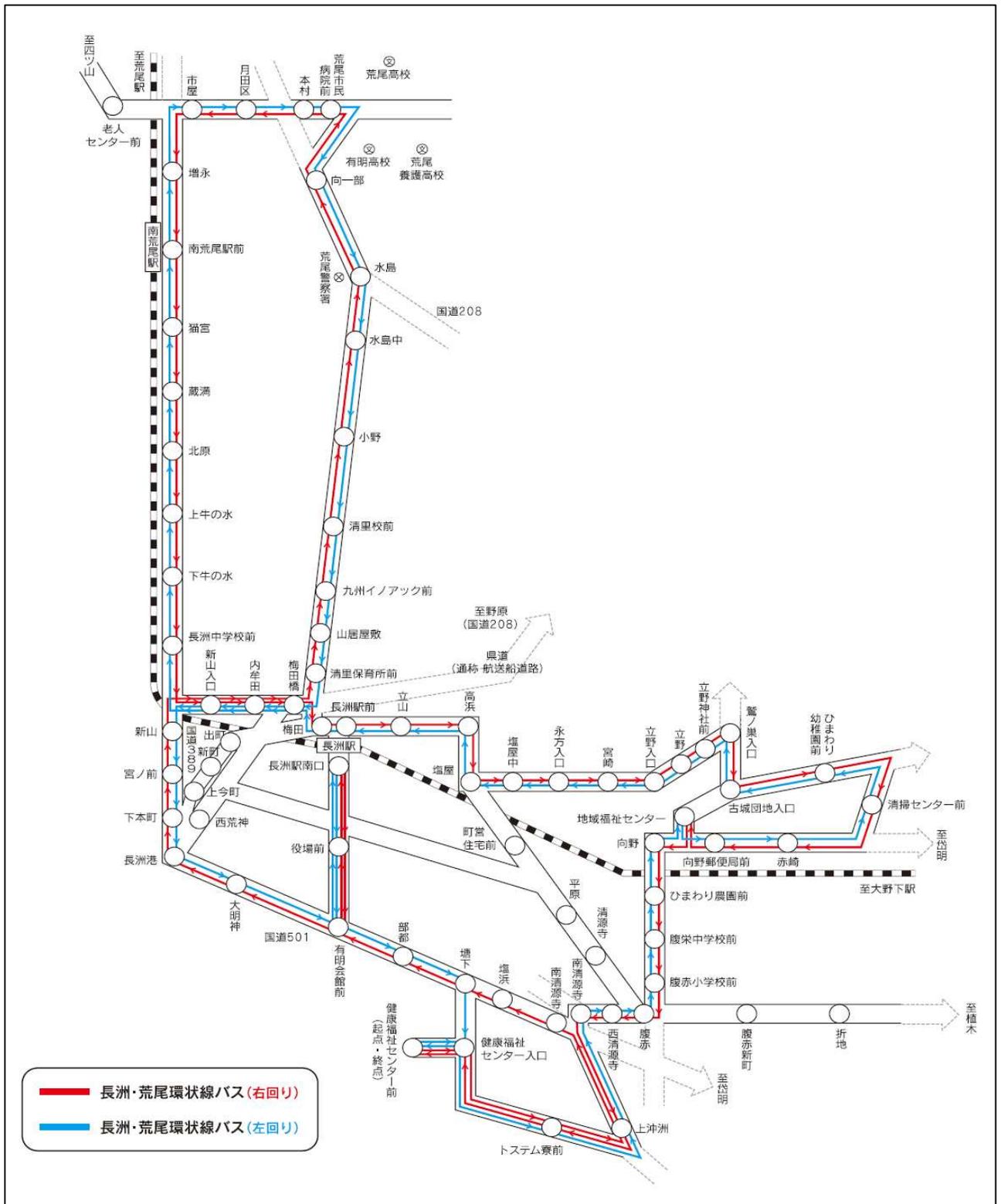
左回り 7：51～8：04（始点：新山）、 9：00～9：39、 11：16～11：55、  
14：03～14：42、 15：50～16：29



# 長洲・荒尾環状線（右回り、左回り）

右回り 10:25~11:42、 15:55~17:12

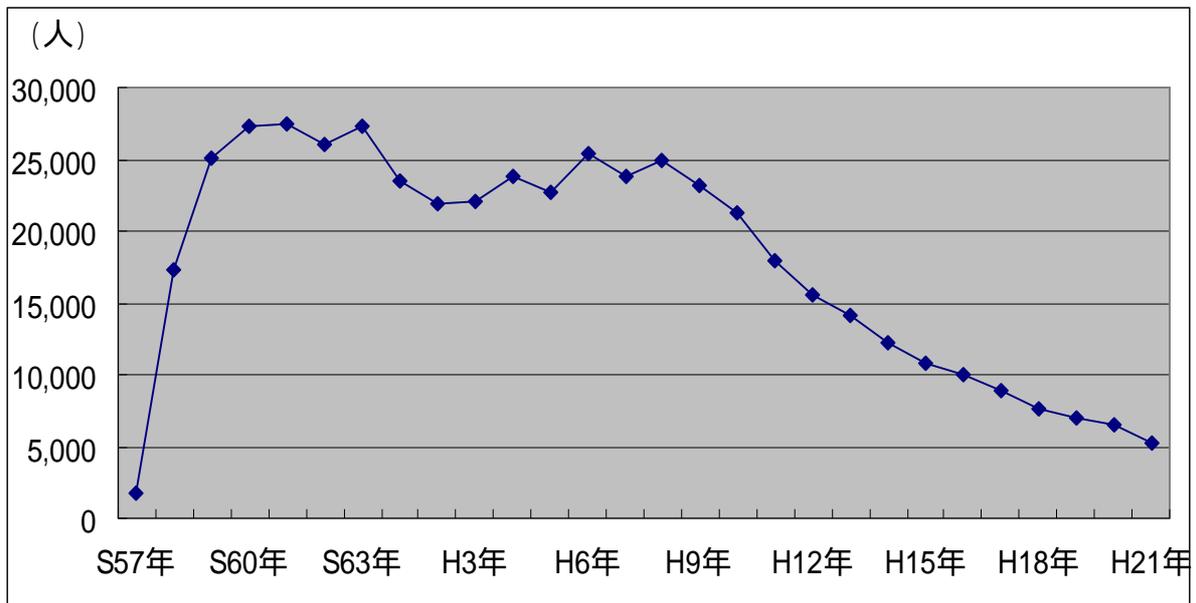
左回り 7:20~8:31、 12:25~13:36



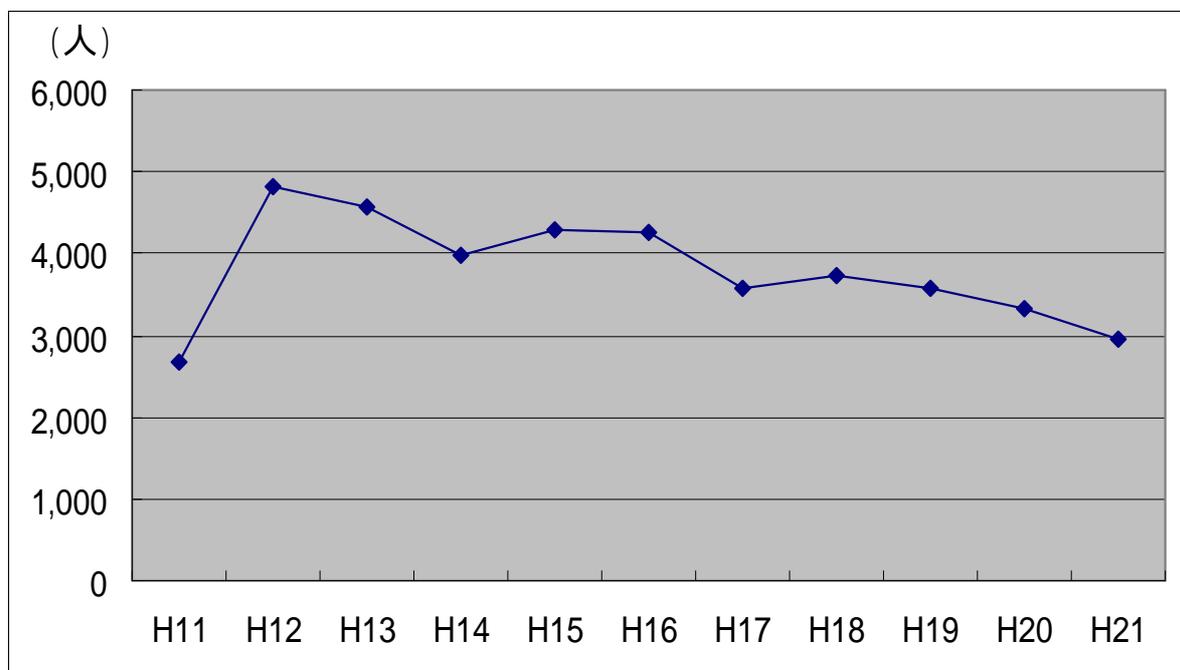
### 3. 利用者数の推移

バス利用者の推移については、年々減少傾向にあり、健康福祉センター環状線及び長洲・荒尾環状線の利用状況については次のとおりです。

健康福祉センター環状線利用者数の推移



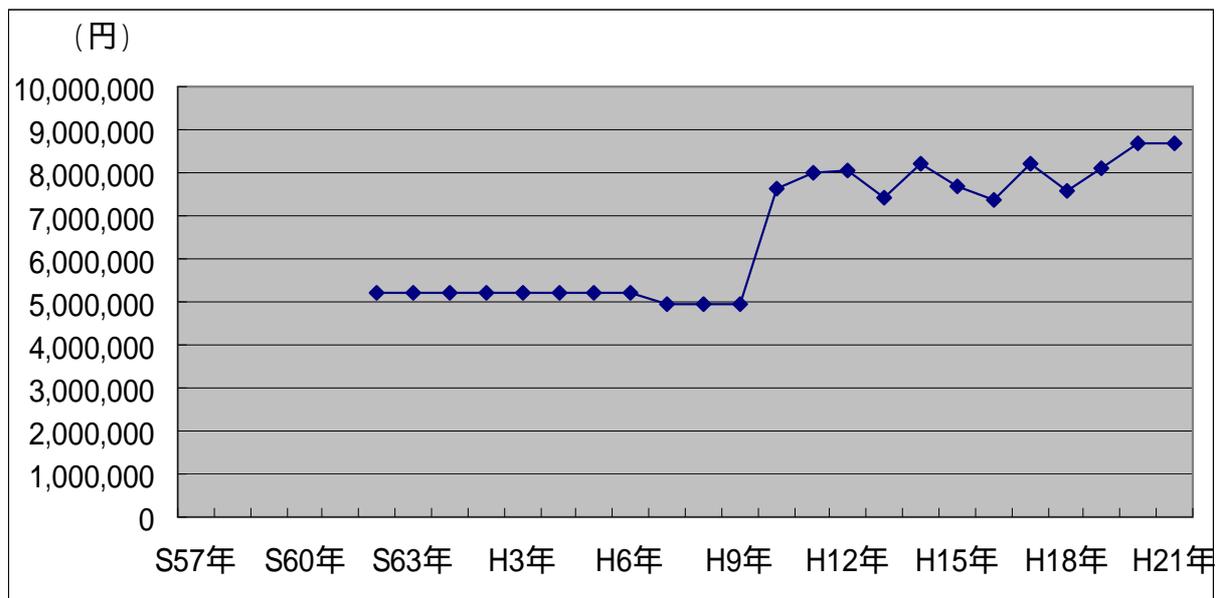
長洲・荒尾環状線利用者数の推移



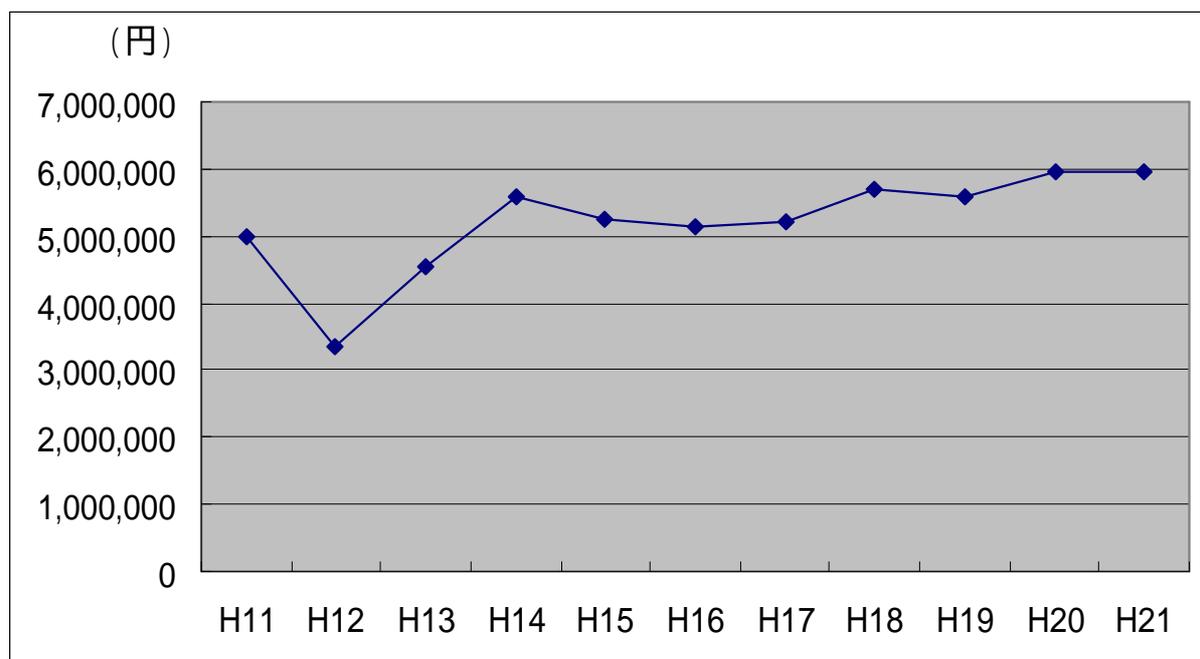
#### 4. 運行欠損額（町補助金）の推移

運行欠損額（町補助金）については、利用者の減少傾向と反比例し、増加傾向にあり、健康福祉センター環状線及び長洲・荒尾環状線の運行欠損額（町補助金）の推移については次のとおりです。

健康福祉センター環状線運行欠損額（町補助金）の推移



長洲・荒尾環状線運行欠損額（町補助金）の推移



## 【公共交通に対する住民の声】

\* 長洲町総合振興計画策定に伴う住民アンケート結果（抜粋）

1,400人を対象に調査を実施（623人回答 「回答率44.5%」）

長洲町が、「どちらかというに住みにくい」・「住みにくい」理由は何ですか？

第1位 交通の便が悪いから 73人回答 20.4%

長洲町に対する満足度調査

交通機関の便利さ 満足9% 普通44% 不満48%

高齢化が進む中、どのようなことに力を入れたらよいと思いますか。

第3位 手軽な交通手段の充実と確保 195人回答 16.8%

町の行政サービスについて、これから力を入れてほしいものは何ですか。

第4位 道路や交通網の整備 210人回答 8.2%

自由意見として

安心して歩ける歩道、マイカーがなくても行動できるように公共交通機関の充実、長洲駅の階段をどうにかして欲しい。（エレベーターの設置か改札を1階にする）（六栄校区女性）

産交バスの活動についての見直して欲しい。（六栄校区男性）

高齢者が多いのに交通手段が1日1,2便のバスではどうしようもないのではないかなと思う。病院へ行くにも個人病院の送迎者を利用するしかないし、公立病院への送迎等も考えてよいのでは。（長洲校区女性）

町内の巡回バスは、ほとんど、人が乗っていません。バスではなくワゴン車とか、又は、タクシー券とか。何とかありませんか。（長洲校区男性）

定期バスに客がいません。廃止してほしい。荒尾市民病院等に行くとき半額補助（タクシー）を検討してください。（長洲校区男性）

集合商業地帯をつくり、そこに行けば一応何でも用事が済む様になる、各地区よりシャトルバスを運行して老人でも気軽に買物や所用が済ませられる様なエリアを作ってほしい。（腹赤校区女性）

お年寄りや車など運転できない方々にとって、交通面で非常に困難ではないでしょうか。乗る人がいないバスを走らせるのもおかしいかもしれないが、何か他の方法はないのでしょうか。（清里校区女性）

車を持たない高齢者のためのバス路線の充実や低料金化の要望が切実。（六栄校区男性）